

令和7年度 鶴岡市災害ボランティアセンター設置・運営訓練 鶴岡市総合防災訓練時に実施（報告書）

令和7年12月 鶴岡市ボランティアセンター

- 1, 日 時** 令和7年11月9日（日）8:00～11:30
- 2, 場 所** 鶴岡市湯田川コミュニティセンター 大ホール
- 3, 参 加 者** 公益社団法人鶴岡青年会議所（スタッフ役）4名
特定非営利活動法人鶴岡災害ボランティアネットワーク（ボランティア役）4名
湯田川地区住民（ボランティア役）10名
鶴岡市社会福祉協議会職員（スタッフ役）12名 **合計 30名**
- 4, 訓練内容** 災害ボランティアセンター設置初日想定で1日の流れの訓練
スタッフミーティング～ボランティア受付～オリエンテーション～
マッチング（グループ分け）～資機材提供～活動～災害ボラセン帰所～
翌日に向けたスタッフミーティング～（振り返り）
<今回設定のテーマと導入訓練>
・聴覚障がいがある方が被災しボランティアの依頼があった。
・そこで、聴覚障がいがある人が複数名ボランティアとして参加している。
・聴覚障がい役2名には疑似体験用のヘッドセットを装着していただき、
対応のための台本は作らず、各班内で相談しながら聴覚がいがある人
とのコミュニケーションを体験する。

5, 災害想定

（1）災害全体

- ・11/9 午前8時00分、マグニチュード6.9の地震発生。（市役所震度計 震度6強）
- ・この地震の影響で、湯田川地区の人的被害、家屋損壊、土砂災害などが数か所で発生。
- ・電気、上下水道等のライフラインの障害も発生。
- ・地区住民は、指定緊急避難場所及び避難所に避難を開始を始めている。

（2）災害ボラセン

- ・本日は発災から4日後の11/12（水）とし、災害VC設置初日の設定で訓練を行う。
- ・湯田川地区は380世帯、人口885人、65歳以上395人（高齢化率44.6%）。
- ・一人暮らし高齢者53世帯、高齢者のみ41世帯。
- ・建物被害、屋根瓦落下等の被害が相当数出ていると市災害対策本部から情報あり。
- ・訪問ニーズ調査と自治振興会を通じて、高齢者世帯からのボランティア依頼が30件程。
- ・今後、一般世帯も含めさらにボランティア依頼が増加すると予想される。
- ・初日は依頼件数8件で、ボランティアは個人・団体合わせて計85人の申込みの想定。

総合防災訓練開会式

湯田川コミュニティセンターのグランドが開閉会式会場。



災害ボラセン設置・運営訓練

全体スタッフミーティング

開所前のスタッフミーティングで
本日の活動内容、予想ボランティア数、
1日の流れ等をスタッフ全員が確認。
進行は総務班長、報告は各班長が担当。



各班ごとの打合せ

ボランティア受付開始前に、各班ごとに最終的な確認を行った。

写真は、マッチング班の打合せの様子。聴覚障がいがあるボランティアへの対応等も確認し合った。



ボランティア受付班



ボランティア活動保険手続きやボランティア活動証明書の希望確認等も行った。



聴覚障がいがある人には筆談やジェスチャーで対応。



マッチング班

受付を済ませたボランティアの皆さんへ活動内容や留意事項等を説明した。



聴覚障がいの方には、ノートテイクで説明を同時通訳。

グループ分け後に、各グループごとに、担当者が活動先のこと等を説明



資材班

資機材の把握と管理。そして、グループごとに活動に必要な資機材を選んでいただき
現場への出発を見送った。今回は訓練なので、資機材はイラストを使用。



総務班

スタッフ管理、マスコミ対応、広報、スタッフミーティング等、総務的役割が多い。



活動を行った想定でこれまでの災害現場の写真で説明

グループごと館内を移動



活動から帰ったボランティアから報告を受ける

グループごとに、ボランティアリーダーが活動報告書に記入して提出してもらう。



1日の終わりのスタッフミーティング

本日の活動報告・問題点と翌日の予定等を、各班長や各スタッフで共有した。



参加者による訓練の振り返り



聴覚障がい者役を担当したNPOメンバー

からは、聴覚障がいがある人から事前に申し込みがある場合は、会話を少なくできるように、文字でやり取りができる表示等を準備しておくことも必要ではないかとのアドバイスをいただいた。

総合防災訓練の統監視察で訓練内容を説明



今年は、ボランティア受付訓練の時に統監視察が行われた。

今年は、地域福祉課荒木係長が訓練内容を説明。